

広報たかなべ

2016. 9. 16 NO. 402



- 特集 みんなが主役～協働のまちづくり～
- 人事行政の運営等の状況の公表について
- 高鍋町消防団魂、ここにあり！
～東見湯支部消防操法大会～
- ご存知ですか？
情報公開制度、個人情報・特定個人情報保護制度
- パブリックコメント制度報告
～町民参画のまちづくりに向けて～
- 「ママフレ」始めました
- ようこそ高鍋町へ！～新しいALTを紹介します～
- 未来へはばたけ！高鍋の子どもたち
- 10月1日は「町民の日」です
- まちの話題
- 書を寄贈していただきました
- わが町の宝物

皆さん、元気です！

高齢者の皆さんを対象とした介護予防事業「いきいき100歳体操」の様子です。これからも一人でも多くの高齢者の皆さんに元気で過ごしていただき、地域の中で活躍していただけるよう、さまざまな取り組みを進めていきたいと考えています。9月19日は「敬老の日」です。町民こそって高齢者の皆さんへの敬愛と長寿をお祝いください。



特集 みんなが主役 ～協働のまちづくり～

高鍋町では、これからのまちづくりに欠かすことのできない「協働」に力を入れ、協働のさらなる推進を図っていくこととしています。今回は、なぜ今協働が求められているのか、協働でこれからのまちづくりがどうなるのかなど、協働に関する情報を皆さんにお伝えします。

協働って大切な？

皆さんも一度は耳にしたことがある「協働」というフレーズ。「なんとなく意味は理解できるけど、具体的に何をすれば協働といえるのか分からないし、そもそも協働って大切なの？」と感じる方も多いのではないのでしょうか。

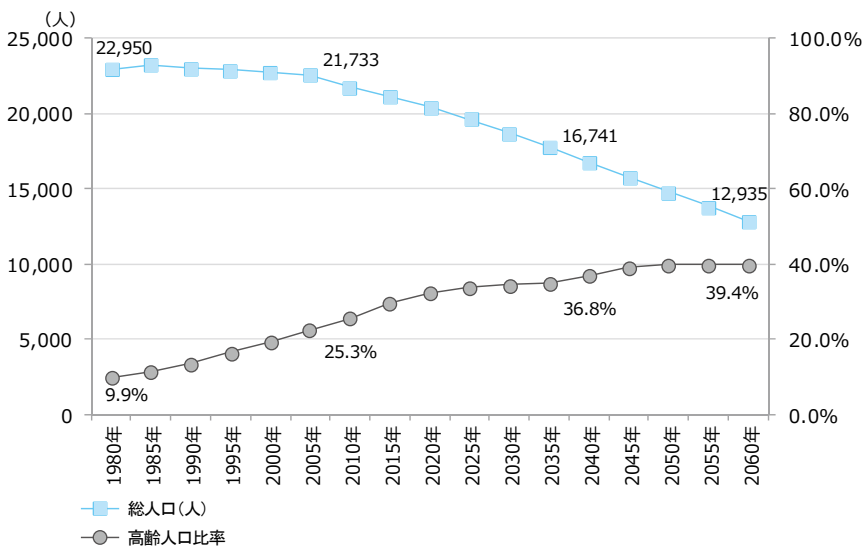
本町に限らず、多くの市町村では人口減少や少子高齢化の進行（本町の状況については資料1および資料2を参照）が問題視される中、さまざまな課題を解決しながら、これからのまちづくりを進めていかなければなりません。また、同時に、まちづくりをどのような視点で進めていくのかを考えていかなければなりません。

このような背景を踏まえ、町では、これからのまちづくりは、実際にそこに住み、生活する住民や団体の持つ力と行政の力を結集し、総力戦で進めていくことが重要であるという観点から、協働を今まで以上に推進することとしています。

資料1 高鍋町の人口における各年齢層の比率（一部推計）

区分	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2040年	2060年
年少人口 (0～14歳)	23.3%	22.7%	19.3%	16.5%	14.9%	13.8%	13.6%	11.1%	10.9%
生産年齢人口 (15～64歳)	66.8%	65.9%	67.3%	67.1%	65.6%	63.7%	61.1%	52.1%	49.7%
高齢人口 (65歳以上)	9.9%	11.4%	13.4%	16.4%	19.4%	22.4%	25.3%	36.8%	39.4%

資料2 高鍋町の人口及び人口に占める高齢者（65歳以上）の割合の推移（一部推計）



意見交換会の様子

町では、現在、定期的に高鍋町自治公民館連絡協議会とこれからの協働・広聴のあり方に関する意見交換会を実施しています。高鍋町自治公民館連絡協議会会長（御屋敷地区自治公民館長）の荒川勇さんは、「自治公民館も地域全体の高齢化や役員の固定化、そして公民館加入率の低下傾向が続くなど厳しい運営を迫られています。今まで以上に魅力ある自治公民館、そして元気で活力ある自治公民館づくりを進めるためにも、協働の重要性について、行政とともに私たちも考えていきたい」と話してくれました。

協働って何？

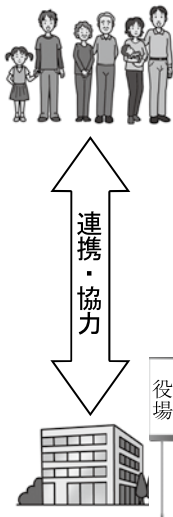
町では、今後の力強い協働の推進に向け、今年度「高鍋町協働推進ビジョン」ともに理解し合い、ともに歩み、ともに未来を築く」をつくりました。

そのビジョンの中で、協働とは「地域住民や地域の団体の皆さんと行政とが共通の目的の達成に向かって、連携・協力しながらそれぞれの持つ力を発揮していくこと」と定義づけています。

さらに、協働を進めるためには、地域住民や団体の皆さんと行政との関係について、次の3つの原則を守ることを求めています。

【協働推進のための3原則】
①お互いの立場を尊重し合い良好な関係が築かれていること

②お互いの立場が平等であること
③それぞれの考えや意見、主張などをお互いがよく聴き、理解し合うこと



協働推進のためのとても重要な活動「広聴」

協働を推進していくためには、行政がまちづくりに対する自らの考えや方向性をきちんと住民の皆さんに伝え、そして、住民の皆さんの意見や思いをしっかりと行政が聴き、お互いの共通認識・共通理解を図る場、いわゆる「広聴」の場を持つことがとても大切です。

また、広聴の場に住民の皆さんに参加していただき、議論を深めていくことも協働のひとつの形であると考えています。

町としては、協働推進の第一歩として、今後、広聴の場を増やし、その内容を充実させることにより、高鍋町で生活を送っている皆さんが何を思い、考え、何を望んでいるのかを的確に把握し、町の施策に反映させるとともに、施策の推進に当たっては、可能な限り協働による取り組みを重視していくこととしています。

協働は、できることから

これまでの話を踏まえ、「協働の重要性は分かっていたけど、何だか難しそう」と感じた方がいるかもしれませんが、協働は、「無理せず、できることをする」ことから始まります。

例えば地域で行っている清掃活動や子どもの見守り活動などはもとより、「町が発信する町政情報を積極的に得ること」や「これからの高鍋町の姿がどうあるべきか考えてみる」といったことも、これからの協働につながる大切なことだと考えています。

どんな小さなことでも、今まで踏み

出すことのなかった第一歩を踏み出すことが、これからの協働によるまちづくりにおいて必要とされているのです。



協働は、みんなが主役

協働によるまちづくりは、性別や年齢などに関係なく、誰もが主役となって進めることができます。

例えば、小学校や中学校の児童・生徒をはじめ、高校生、大学生、仕事や子育てに励む方、高齢者や障がいのある方など、誰でも自らの立場に立って将来の高鍋町の姿を思い描き、その姿の実現のために意見を述べ、必要な活動に携わる権利を持っています。

ぜひ、それぞれが持つ力をこれからの高鍋町のため、そして、将来を支える今の子どもたちのために発揮していただきたいと考えています。

みんなが主役 協働のまち「高鍋町」



～協働に向けた取り組みの事例紹介～ 「これからの高鍋町を一緒に描いてみませんか」



15年後の高鍋を描いた未来新聞をグループごとにつくり発表
アイデアと笑いにあふれた場となった

町では、まちの最も重要な計画である「高鍋町総合計画」をつくるに当たり、町民の皆さんの意見等を計画に反映させることを目的に、これからの高鍋町についてみんなで考え、語り合う場として、宮崎産業経営大学と連携し、「高鍋の子どもと未来のための作戦会議」15年後の高鍋を一緒に描こう！を8月20日（土）および21日（日）の2日間で開催しました。

「気軽に、楽しく」をコンセプトとしたこの会議では、お茶やお菓子を囲みながらそれぞれが対話し、自由に前向きな意見が数多く出されました。

この会議に参加した町内在住の花房俊見さんは、「高鍋町のこともっと知りたくて参加しました。この会議を通して、これから、できる範囲で自分もまちづくりに携わっていきたくたいです」と話してくれました。

この特集の取材を終えて、「協働」の重要性を改めて認識させられました。

これからのまちづくりは、まずは、そこに住む人と人がつながり合って、同じ目標、まちの将来像を共有しながらひとつの大きな力を生み出すことが大切であり、その仕組みとして「広聴」があり、「協働」が求められるのではないかと考えています。

私も高鍋町に住む町民のひとつとして、今まで以上に協働を念頭に、これからの高鍋町のためにがんばっていきたく思います。

人事行政の運営等の状況の公表について

人事行政運営における公正性・透明性の確保を目的として、平成17年に制定された「高鍋町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例（平成17年高鍋町条例第5号）」に基づき、前年度における職員の任用、給与、勤務時間、分限、懲戒、服務、研修等の状況について、町長がその概要を毎年公表するものです。

1 職員の任免及び職員数等に関する状況

●職員の総数（各年度4月1日現在）

	平成27年	平成28年
職員数	164人	161人
増減	1人	▲3人

●退職者の状況（平成27年度）

定年	早期募集	その他	合計
3人	3人	2人	8人

●年齢別職員数の状況（平成28年4月1日現在）

10代	20代	30代	40代	50代
1人	38人	41人	50人	31人

●採用者の状況（各年度4月1日現在）

	平成27年	平成28年
一般行政職	6人	3人
看護・保健師職	—	1人
技術職	—	—
合計	6人	4人

●一般行政職の級別職員数の状況（平成28年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
標準的な職務内容	主事	主事技師	主任主事 主任技師 係長 主査	課長補佐 係長 主査	課長補佐	課長	
職員数	13人	21人	32人	23人	17人	13人	119人
構成比	11.0%	17.6%	26.9%	19.3%	14.2%	11.0%	100.0%

●部門別職員の状況（各年度4月1日現在）

区分	職員数			対前年度増減数		
	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度
一般行政	122人	123人	120人	2人	1人	▲3人
教育	23人	22人	21人	1人	▲1人	▲1人
公営企業会計等	18人	19人	20人	0人	1人	1人
合計	163人	164人	161人	3人	1人	▲3人

2 職員の給与等の状況

●人件費の状況（普通会計決算） ※決算統計資料

区分	住民基本台帳人口（27年度末）	歳出額A	人件費B	人件費率B/A	（参考）26年度の人件費率
27年度	20,989人	8,228,177千円	1,328,593千円	16.1%	16.5%

（注）人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含みます。

●職員給与費の状況（一般会計当初予算）

区分	職員数A	給与費				一人当たり給与費B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	合計B	
28年度	146人	548,144千円	54,468千円	205,191千円	807,803千円	5,533千円

（注）1 職員手当には退職手当を含みません。2 給与費は当初予算に計上された額です。

●職員の初任給、平均給料月額及び平均年齢の状況（平成28年4月1日現在）

区分	初任給	平均給料月額	平均年齢	
一般行政職	大学卒	176,700円	302,900円	39歳8月
	高校卒	144,600円		

（注）初任給の額は、学校卒業後すぐに採用された場合の給料月額です。

●職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成28年4月1日現在）

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	249,550円	292,233円	355,000円
	高校卒	212,500円	272,400円	302,800円

●職員手当の状況（平成28年4月1日現在）

区分	期末手当	勤勉手当	退職手当	自己都合	
				勤続20年	勤続30年
期末勤勉手当	6月期	1.225月分	0.80月分	20.445月分	25.55625月分
	12月期	1.375月分	0.80月分	36.105月分	42.41250月分
	合計	2.600月分	1.60月分	41.325月分	49.59000月分
職制上の段階、職務の級による加算措置があります。				最高限度額	49.59000月分

手当の種類	内容
扶養手当（月額）	配偶者13,000円 配偶者以外6,500円 配偶者なしの1人11,000円 16歳から22歳までの1人につき5,000円加算
住居手当（月額）	借家・借間で月額12,000円を超える家賃を支払っている職員 11,000円～27,000円
通勤手当（月額）	交通用具（車等）利用者2km以上 2,000円～31,600円
時間外勤務手当	平成27年度一般会計決算額 10,396千円
特殊勤務手当	支給職員1人当たり平均支給年額 13,938円
	手当の種類 5種類
	代表的な手当の名称 町税徴収強制執行業務手当

●特別職の給料（平成28年4月1日現在）

区分	給料月額	期末手当
町長	719,000円	6月期 1.50月分
副町長	583,000円	12月期 1.65月分
教育長	550,000円	合計 3.15月分

●特別職の報酬（平成28年4月1日現在）

区分	報酬月額	期末手当
議長	303,000円	6月期 1.40月分 12月期 1.55月分 合計 2.95月分
副議長	227,000円	
委員長	216,000円	
議員	210,000円	

高鍋町消防団魂、ここにあり！ 東児湯支部消防操法大会

7月16日(土)宮崎県東児湯消防組合において、第54回東児湯支部消防操法大会が挙行され、本町からは第2部(小型ポンプの部)、第3部(ポンプ自動車の部)および第13部(小型ポンプ積載車の部)が代表として大会に出場しました。

惜しくも優勝は逃したものの、どの部も高鍋町消防団の名に恥じない見事な操法を披露してくれました。団員のご家族や職場の皆さん、訓練へのご理解とご支援本当にありがとうございます。また、消防団幹部と団員の皆さん、長期間にわたる訓練、本当にお疲れ様でした。



消防団幹部と消防団員の皆さん




第2部(小型ポンプの部)



第3部(ポンプ自動車の部)



第13部(小型ポンプ積載車の部)



消防団員 募集中!

町では、安心・安全の確保の担い手として活躍する消防団員を募集しています。あなたの力をぜひ消防団で発揮してみませんか。消防団に関するお問い合わせは、総務課生活安全係(☎ 26-2001)まで。

ご存知ですか? 情報公開制度、個人情報・特定個人情報保護制度

【情報公開制度】

高鍋町が保有する町政情報を住民が開示請求できる制度です。

平成27年度は、17件の開示請求があり、全部開示16件、不存在1件という決定でした。この決定に対する不服申し立てはありませんでした。

【個人情報(特定個人情報)保護制度】

高鍋町が保有する個人情報・特定個人情報を適正に取り扱うことにより保護する制度で、住民の権利として自分の個人情報・特定個人情報の開示・訂正・目的外利用等の停止を請求することができます。

平成27年度は、請求はありませんでした。

※平成27年10月から特定個人情報(個人番号(マイナンバー)を含む個人情報)も保護の対象となりました。

◆お問い合わせ
政策推進課 情報政策係

パブリックコメント制度報告 ~町民参画のまちづくりに向けて~

パブリックコメント制度とは、町が政策などを決めるときに、その案を広く住民に公表し、皆さんから寄せられたご意見などを取り入れることができるかどうかを検討し、その結果(最終案)とともに寄せられたご意見などに対する町の考え方をあわせて公表していく手続きをいいます。

この制度は、町としての統一的なルールを確立し、行政運営の透明性の向上を図るとともに、住民の皆さんの町政への参加機会の拡充を図り、「公正で開かれた町政」の実現を目指すものです。

平成27年度の実施結果は次のとおりです。

案件名	実施期間	担当課	結果
高鍋町災害廃棄物処理計画(案)	平成27年4月3日～5月2日	町民生活課	ご意見はありませんでした
高鍋町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)	平成27年12月8日～平成28年1月7日	政策推進課	2名(2件)
第2次高鍋町男女共同参画プラン(案)	平成27年12月21日～平成28年1月19日	政策推進課	ご意見はありませんでした
高鍋町一般廃棄物処理基本計画第3期(案)	平成28年2月18日～3月18日	町民生活課	ご意見はありませんでした

※計画は、町ホームページでも閲覧できます。<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>

●ママフレ (Web版)

WEB

高鍋町 ママフレ

で 検索

<http://takanabe-town.mamafre.jp>



●ママフレ (スマートフォンアプリ)

①App StoreまたはGoogle Playからアプリ(子育てタウン)をダウンロード

[App Store] [Google Play]



②アプリ初期画面右上の「設定」⇒「プロフィール設定」で郵便番号を登録(メールアドレスおよびパスワードの入力は不要です)

③アプリ初期画面右上の「設定」⇒「お子さん設定」の右上の「+」からお子さんの年齢等を入力していただくと、その年齢に合った情報をお知らせします

育児を応援する行政サービスガイド
「ママフレ」始めました

「ママフレ」は、出産や子育てに関係する高鍋町の行政サービスや救急時の連絡先、関連施設・窓口、各種相談先などの情報を総合的に掲載したサイトです。

この「ママフレ」は、web版で直接ご覧いただくか、また、スマートフォンをご利用の方はアプリをダウンロードし、必要な登録をしていただくことで、簡単に利用することができます。

出産を控えられた方や子育て世帯の心強い味方「ママフレ」をこの機会にぜひご活用ください。



外国語指導助手 (ALT) とは、Assistant Language Teacher の略で、小学校や中学校、高等学校の児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を目的に教育委員会から学校に配置され、授業を補助する指導助手をいいます。

「皆さんこんにちは！私は新しいALTのダニエル・パイリスです。高鍋町に来ることができて、とてもうれしいです。また、高鍋町での新しい旅(出発)にわくわくしています。皆さんの美しい町に迎えていただき、本当にありがとうございます。これからよろしくお願いします」



ダニエル・パイリスさん

7月まで本町の外国語指導助手 (ALT) として英語の指導をしていたハナ・ロバートソンさんの後任として、イギリス出身のダニエル・パイリスさんが赴任されました。皆さん、町で見かけたら気軽に声をかけてください。

ようこそ高鍋町へ！
新しいALTを紹介いたします

未来へはばだけ！高鍋の子どもたち

高鍋西中学校ジュニアラグビー部



全国大会での勝利に向け練習に励む選手の様

高鍋西中学校ジュニアラグビー部(森大二郎顧問)は、2年ぶり4回目の全国大会出場を果たしました。

猛暑の中、熱心な指導を受けながら連日の練習に励む選手たち。9月17日から3日間にかけて茨城県で開催される全国大会では、練習の成果を存分に発揮し、高鍋のラグビー魂を試合にぶつけ、優勝を目指してがんばってください。

全国大会での健闘を祈っています。

児湯ガールズ



全国大会出場が決まり、役場に表敬に訪れた「児湯ガールズ」の選手たち

児湯郡内の女子小学生で結成された軟式野球チーム「児湯ガールズ」(比江島年見監督)が6月に開催された宮崎

県予選会で見事優勝を果たし、全国大会への切符を手に入れました。

8月6日から埼玉県で開催された全国大会では、2回戦で惜しくも三重県代表の「三重高虎ガールズ」に敗れましたが、高鍋町出身選手5名を含め、全員が一丸となって試合に臨みました。

10月1日は「町民の日」です

毎年10月1日は、昭和13年に旧高鍋町と上江村が合併し、本町の礎をつくった日であり、町では、この日を「町民の日」として定めています。

この日は、全ての町民が、高鍋町に生まれ、育ち、暮らしていることに誇りを持つことを再認識してもらう日であるとともに先人たちの努力や功績に改めて感謝の意を表す意義のある日でもあります。

また、毎年、「町民の日」記念式典及び社会福祉大会を挙行政し、さまざまな分野の功労者に対する表彰を行っています。



平成27年度の式典の様子

今年度は、10月1日(土)午後2時から高鍋町美術館で挙行政されます。



◎「海」のイベント2連発!



夢中になって番号札を探す参加者の皆さん

7月18日(月・祝)、蚊口浜キャンプ村一帯で、宝探し「だれじゃ〜ハンター? in 蚊口ハマー」が開催され、500人余りの参加者が「お宝」の獲得を目指し、番号札を探し回っていました。



今回、「ベストサンドアーティスト賞」に選出された作品

また、8月7日(日)には、蚊口海水浴場において「世界の砂の造形コンクール in 蚊口ハマー」が開催されました。家族連れなど10組のチームが、1時間以上にわたり照りつける太陽の下で汗をかきながら、一生懸命砂のアートを描いていました。※役場広報チームも飛び入りで参加させていただきました。

◎交流でさらに深まる 姉妹都市との絆

7月21日(木)から24日(日)までの4日間、米沢市在住の小学生10名が本町を訪れ、施設・史跡見学をはじめ、ホームステイやサーフィン体験などを通じ、交流を深めました。



サーフィンを楽しむ米沢市の小学生

◎美術館特別展開催

7月30日(土)から8月28日(日)まで美術館特別展「未完の夢 戦没画学生慰霊美術館「無言館」展」を開催しました。



戦没画学生慰霊美術館「無言館」館主 窪島誠一郎氏

30日(土)のオープニングセレモニーには、長野県上田市にある「無言館」館主の窪島誠一郎氏も来町され、同日、窪島氏による講演会も行われました。

◎子ガメの姿に一喜一憂

8月14日(日)、「子ガメを送る会」を蚊口浜で開催し、町内外から、約300人の方が参加しました。子ガメを海へ帰す場面では、子ガメのぎこちないながらも一生懸命海に向かう姿に、子どもたちは大きな声援を送っていました。



たくさんの人に見守られながら海に帰っていく子ガメたち

◎「ひまわり」がつくる みんなの笑顔

本町の恒例イベントとなった「きやべつ畑のひまわり祭り」が8月13日(土)および14日(日)に開催されました。広大な土地に咲いた1千本万本のひまわりを一目見ようと、約1万1千人の来場者が訪れ大いに賑わいました。



ひまわりを鑑賞しながら祭りを満喫する来場者の皆さん

新入園児募集中



園庭や教室でいっしょに遊びませんか。

満2歳より就学前のお子様をお預かりいたします。

幼稚園部 保育時間7:30~15:00延長保育有18:30まで

保育園部 保育時間7:30~18:30

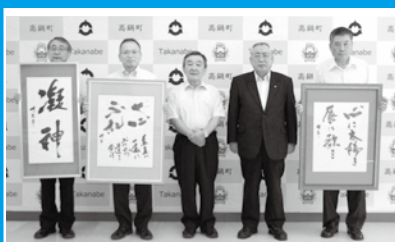


認定こども園 **高鍋カトリック聖母幼稚園**

場所 ジョイアス横 電話 0983-23-1500

※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。

書を寄贈していただきました



高鍋町在住の書家、松田 幸敏さんが8月12日(金)役場を訪れ、4点の書を役場と教育委員会に寄贈されました。

寄贈いただいた書は、役場および教育委員会に飾っています

松田さんのご厚意に感謝いたします。

わが町の宝物

みんな元気に育ってね。

このコーナーは、9・10カ月
児健診に来たお子さんを紹介し
ています。
今回は、7月・8月の健診に来
た元気なちびっこたちです！



くろぎ はな
黒木 葉菜 ちゃん



たにぐち
谷口 きこ ちゃん



かわはら ひろと
河原 弘人 ちゃん



しゅとう ゆうこ
首藤 結護 ちゃん



はしぐち はるま
橋口 晴馬 ちゃん



たきぐち しゅんご
瀧口 隼吾 ちゃん



ながとも てる
長友 光琉 ちゃん



ふじもと みゆ
藤元 心優 ちゃん



おかだ しょうき
岡田 翔喜 ちゃん



くろぎ らむ
黒木 蘭夢 ちゃん



ふじた
藤田 ひまりちゃん



くろぎ むと
黒木 夢飛 ちゃん



あんどう ゆあ
安藤 優杏 ちゃん



えのもと ひでまさ
榎本 英雅 ちゃん



みやこえ ゆい
宮越 柚衣 ちゃん



やの ひな
矢野 比那 ちゃん



さかた しんたろう
坂田 眞太郎ちゃん



だけほら みちか
竹原 三千花ちゃん



いわきり そうま
岩切 颯希 ちゃん



かわはら りお
川原 凜桜 ちゃん



おだ な
小田 みは奈ちゃん



きむら あさと
木村 旭翔 ちゃん



しんや かえで
新屋 楓 ちゃん



たかはし こうだい
高橋 幸大 ちゃん



やの れおな
矢野 玲音那ちゃん



のりまつ こうや
則松 宏哉 ちゃん

高鍋町公式Facebookを開設しました

高鍋町では、行政情報をはじめ、各種イベント情報やまちの魅力などを積極的に発信するとともに、災害時等の迅速な情報提供に活用するため、公式Facebookページを開設しました。ページ名は「高鍋町役場」です。Facebookのアカウントをお持ちの方は、ぜひご覧ください。



「高鍋町公式Facebook」
二次元コード

広報たかなべ 2016. 9. 16 NO. 402

編集・発行／宮崎県高鍋町
〒884 - 8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437
政策推進課／☎0983 - 26 - 2003
<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>
※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。



人口と世帯数 (9月1日現在・前月比)

人 口／ 20,894人 (-11)
男 性／ 9,779人 (-7)
女 性／ 11,115人 (-4)
世帯数／ 8,671世帯 (-3)

第16回 高鍋城灯籠まつり

- ▲とき
10月8日(土)15:00~21:00
9日(日)11:00~21:00
- ▲ところ 舞鶴公園周辺
- ▲灯籠点灯式
8日(土)15:45~17:00
- ▲お問い合わせ
高鍋城灯籠まつり実行委員会事務局
(高鍋町役場政策推進課内)
☎: 26-2018

